

令和2年度地方創生推進交付金事業の実績報告について

令和2年度地方創生推進交付金を活用し実施した事業の実績について報告します。

1 交付金の活用目的

国の地方創生推進交付金は、地方版総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な取組を複数年度にわたり安定的・継続的に支援することにより、地方創生の深化・高度化を促すものです。本市においても交付金を活用し、複数の政策を相互に関連づけるなど、地方創生の充実・強化を図る事業へと展開するとともに、市の財政負担の軽減を図っています。

2 PDCAサイクル

- 国の採択を受けた事業について毎年実績報告をとりまとめ、重要業績評価指標（KPI）の達成状況を国に報告。
- 検証の実施（外部有識者の意見聴取）。
- 検証結果を受けて事業改善を行い、次年度以降の事業を実施。

3 交付金事業の概要

（1）地域連携DMOの設立による麒麟のまち圏域広域観光開拓・推進事業

麒麟のまち圏域の観光地域づくりの核となる地域連携DMOの設立・運営を支援するとともに、圏域への新たな観光需要の開拓を行い、観光入込客数の増加を図ります。また、この取組により促進された交流人口の増加を移住定住者の増加につなげるため、移住定住相談会への出展等により、ふるさと・いなか回帰の促進を図ります。

（2）高度外国人材等活用促進事業

本市に高度外国人材の供給体制を整えることや、外国人留学生の市内企業へのインターンシップを実施することにより、市内企業の人材不足・労働力不足への対応や企業の海外展開の推進を図ります。

（3）「山陰海岸ジオパーク」の魅力向上・発信による地域活性化プロジェクト

麒麟のまち圏域を訪れる観光客の増加に向け、山陰海岸ジオパークエリアに点在する優れた観光エリアの情報発信や魅力の向上、体験型観光の充実・強化を図ります。また、子どもたちにジオパーク学習会を通じて、郷土愛の醸成や地域資源を活かした観光事業の可能性や魅力を伝え、将来の観光産業を担う人材育成・確保を図ります。

（4）「麒麟のまち」製品のブランド化・販路拡大による産業振興プロジェクト

「麒麟のまち関西情報発信拠点」を拠点に、関西圏へ圏域の魅力発信及び圏域製品のPR・販路拡大を行います。また、事業実施主体を「地域商社とっとり」が担うことで、販路拡大や市場ニーズを踏まえた新商品開発と既存商品のブランド化を一体的に行うとともに、これらを通じた交流人口の拡大による地域経済の活性化を図ります。

（5）スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業

スマート農業などの実証事業による生産性向上や地元産品等を活用した新製品開発やブランド化の支援による高付加価値化を図るとともに、インターネットショップの運営などによる販路拡大やPRのための支援や担い手不足解消に向けた事業の実施により、農林水産業をはじめ

めとする地域経済における諸課題の解決を図ります。

(6) 中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業

鳥取駅周辺の構造的課題の把握、回遊性・滞在性の向上による魅力の創出、遊休不動産の利活用を通じてまちの魅力を高める「リノベーションによるまちづくり」の推進を行うとともに、市内外からの来訪者増加に向け、持続可能で利便性の高い公共交通の再構築に向けた事業を展開することで、多極ネットワーク型コンパクトシティの推進を図ります。

4 事業実績の概要

事業名 (実施期間)		総事業費 (うち交付金充当額)	指標	目標値	実績値	内部 評価	外部 評価
1	地域連携DMOの設立による麒麟のまち圏域広域観光開拓・推進事業 (H29～R3年度)	53,425千円 (26,673千円)	圏域への観光客入込客数 (年)	7,610 千人	4,382 千人	地方創生に相当程度効果が あった	KPI達成に有効であ った
			圏域への移住定住者数(年 度)	631人	699人		
2	高度外国人材等活用促進事業 (H30～R2年度)	30,000千円 (9,320千円)	県内企業の高度外国人の 採用数(年度)	30人	13人	地方創生に効 果があ った	KPI達成に有 効であ った
			県内企業への就職を前提 とした鳥取城北日本語学 校の入学者数(年度)	30人	14人		
3	「山陰海岸ジオパーク」 の魅力向上・発信による 地域活性化プロジェクト (R元～R3年度)	35,375千円 (16,736千円)	鳥取砂丘・いなば温泉郷周 辺の観光入込客数(年)	295.0 万人	170.8 万人	地方創生に効 果があ った	KPI達成に有 効とはい えない
			出前講座・現地研修参加者 数(年度)	10,600 人	6,854 人		
4	「麒麟のまち」製品のプ ラント化・販路拡大によ る産業振興プロジェクト (R元～3年度)	47,641千円 (23,604千円)	地域商社の取引契約件数 (累計/年度)	120件	133件	地方創生に相 当程度 効果が あった	KPI達成に有 効であ った
			鳥取砂丘・いなば温泉郷周 辺の観光入込客数(年)	295.0 万人	170.8 万人		
5	スマート農業技術を活 用した新たな販路開拓 や商品開発事業 (R2～4年度)	99,907千円 (44,573千円)	次世代農業実施経営体数 (企業・法人・個人)(年 度)	1件	1件	地方創生に相 当程度 効果が あった	KPI達成に有 効であ った
			高校生地元就職率(年度)	88.60%	87.09%		
			大学生地元就職率(年度)	24.14%	17.20%		
			インターネットモール「と っとり市」の売上額(年度)	26,626 千円	63,616 千円		
6	中心拠点と公共交通ネ ットワークの再構築に よる多極ネットワーク 型コンパクトシティ推 進事業 (R2～4年度)	21,081千円 (9,290千円)	中心市街地における歩 行者・自転車通行量(年 度)	14,725 人	14,398 人	地方創生に効 果があ った	KPI達成に有 効であ った
			遊休不動産の利活用件数 (年度)	2件	3件		
			圏域の路線バス利用者数 (年度)	2,585 千人	2,335 千人		
合計		287,429千円 (130,196千円)					

事業実績の詳細 … P4～33のとおり

地方創生推進交付金事業の評価について

・国が定める以下の区分に基づき、評価を行っています。

● 内部評価について

評価区分		例
①	地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

● 総合企画委員評価（外部評価）について

評価区分	評価の内容
①	KPI達成に有効であった
②	KPI達成に有効とは言えない

(1) 地域連携DMOの設立による麒麟のまち圏域広域観光開拓・推進事業

①基本事項					
事業タイプ	先駆タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	H29年度～R3年度
②事業概要					
<p>麒麟のまち圏域1市6町の交流人口拡大に向けた観光地域づくりの核となる地域連携DMOの運営を支援する。加えて、広域周遊観光の推進、地域資源の魅力向上により、圏域への新たな観光需要の開拓を行い、圏域の観光入込客数増加を図る。また、移住促進事業をあわせて実施することで、観光振興による交流人口の増加を圏域への移住につなげる。</p>					
③令和2年度実施事業					
事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部(局)課等	
				実施事業を含む予算中事業名	
1	広域観光連携事業	<p>(1) DMO運営支援、マーケティング分析費、外国人観光客ツアーデスク開発研究 地域連携DMO「麒麟のまち観光局」が中心となり、統一感のあるエリアブランドの構築を目指すとともに、個人旅行者向け体験コンテンツの開発やツアーデスクの開設による受入環境の向上と、旅行者アンケートや位置情報データ等によるマーケティング分析により、さらなる圏域の観光消費拡大を図る。</p>	<p>●広域連携DMO（麒麟のまち観光局）の運営を支援。 ・圏域内体験型観光メニューの新規作成50件 ・圏域の観光消費拡大に向けた「観光販売戦略」の策定</p> <p>●DMOによる主要観光施設へのエリアセンサー設置や各自治体等が保有するデータを活用したマーケティング分析の開始。</p> <p>●DMOによるツアーデスクの設置については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送り。</p>	<p>経済観光部 観光・ジオパーク推進課</p>	<p>広域観光開拓・推進事業費</p>
		<p>(2) 国内砂像選手権等 民間の鳥取砂のルネッサンス実行委員会が行う、砂像のブランド力の向上の取組や砂像文化の醸成を図る取組の実施に係る経費を助成し、「砂像のまち鳥取」の推進を図る。</p>	<p>●鳥取砂のルネッサンス実行委員会が行う各種事業に係る経費を助成。 ・鳥取駅前でのコロナ復興砂像制作の実施。 ・砂像作りや砂遊びの魅力発信を情報誌の記事掲載や動画系SNSでの動画配信などで実施。</p>	<p>経済観光部 観光・ジオパーク推進課</p>	<p>「砂像のまち鳥取」推進事業費</p>
		<p>(3) 因幡地域周遊バス運行支援助成費 県東部地域の二次交通対策として個人観光客を対象にツアーバスを運行し、誘客促進を図る。</p>	<p>●鳥取、因幡地域を周遊するバスツアーの運行は、新型コロナウイルス感染症の影響により見送り。</p>	<p>経済観光部 観光・ジオパーク推進課</p>	<p>因幡地域周遊バス運行支援助成費</p>
		<p>(4) 観光大学支援事業 観光マスターの育成を目的とする観光大学の運営を支援し、観光客へのホスピタリティの向上を図る。</p>	<p>●観光大学の運営経費の助成。 ・観光大学第16期受講者20人中、19人が観光マスター認定試験に合格。 （累計認定者522人）</p>	<p>経済観光部 観光・ジオパーク推進課</p>	<p>観光ボランティア活性化事業</p>

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部(局)課等
				実施事業を含む予算中事業名
1	広域観光連携事業	(5)鳥取県東部エリア周遊スタンプラリー負担金 山陰道鳥取西道路の全線開通を契機に、鳥取県や県東部の1市4町とそれぞれの観光協会が連携し、官民一体の事業としてスタンプラリーを実施することで誘客を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●「東部エリア周遊スタンプラリー」を季節に応じて展開。 <ul style="list-style-type: none"> ・秋期応募2,595件、冬期応募1,226件 ●各種広報展開（令和3年1月：関西ウォーカー2月号掲載、R3年2月：スポーツ報知広告掲載ほか） 	経済観光部 観光・ジオパーク推進課 各種団体負担金
		(6)鳥取すごいライド運営補助事業 麒麟のまち圏域の自然景観や食、地元住民との交流を楽しむ自転車イベントの開催を助成し、地域の魅力発信を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年10月18日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 	市民生活部 地域振興課 新市域振興推進事業費
		(7)エリアプロモーション放送番組制作事業、圏域拠点賑わい創出事業 麒麟のまち圏域の住民が主役のFMラジオ放送の実施、庁舎ライトアップと麒麟のまち圏域のパネル展示、圏域各町から様々なお店が出店するイベント「麒麟のまちホリデーマーケット」の開催により、圏域の情報発信と魅力の浸透を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●ラジオ放送全2回の実施（YouTubeでアーカイブ配信） ●麒麟のまちホリデーマーケットを実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・出店数11店舗、延べ来場者数約800名 	企画推進部 政策企画課 シティセールス推進事業費
2	移住促進事業	(1)移住定住相談会へのブース出展、移住相談会事業 鳥取県東部圏域1市4町及び兵庫県北但西部2町で移住相談会に合同出展し、圏域の魅力発信するとともに移住相談を実施することで移住定住を促進する。 また、本市単独の事業として、移住に繋げる相談会の実施やリーフレット作成により、関西圏・首都圏の在住者を主なターゲットとして本市の魅力PRし、本市への関心や移住意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ●1市6町合同事業 <ul style="list-style-type: none"> ・おいでや！いなか暮らしフェア2020への出展を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。 ・ふるさと回帰フェア2020（10月11日開催）にオンラインで出展。麒麟のまち圏域PR動画等を活用したPRの実施。 ●鳥取市単独事業 <ul style="list-style-type: none"> ・第3回全国オンライン移住フェア（2月7日開催）に出展。 ・休日相談会・ナイター相談会の実施。（※県定住機構との連携相談会。新型コロナウイルス感染症の影響により、主にオンラインで実施） ・移住リーフレットを作成し、相談会業務等で活用。 	市民生活部 地域振興課 人材誘致・定住促進対策事業費
		(2)麒麟のまち婚活サポートセンター運営業務 麒麟のまち婚活サポートセンターの運営により、婚活イベントの開催やフォローアップをすることで出会いから成婚までのサポートを行い、若い世代の定住を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント参加者数573人 ●成婚数8組 	企画推進部 政策企画課 若者定住促進事業費

④事業費について							
総事業費		53,425	千円				
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	26,673	千円				
	その他の特定財源	0	千円				
	一般財源	26,752	千円				
⑤重要業績評価指標（KPI）							
指標1	指標名	圏域への観光入込客数（千人/年）					
	関連する事業番号	1	担当部（局）・課等		経済観光部 観光・ジオパーク推進課		
		基準値 H27年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
	目標値	—	6,610	6,920	7,340	7,610	7,890
	実績値	6,305	6,451	6,736	6,809	4,382	
	達成率		97.6%	97.3%	92.8%	57.6%	
指標2	指標名	圏域への移住定住数（年間）（人/年度）					
	関連する事業番号	2	担当部（局）・課等		市民生活部 地域振興課		
		基準値 H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	目標値	—	540	565	560	631	636
	実績値	573	741	698	673	699	
	達成率		137.2%	123.5%	120.2%	110.8%	
内部評価	内部評価区分 ①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 ②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合 ④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合 ⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合						
②							
⑥今後の方針について							
事業番号1	地域連携DMO「麒麟のまち観光局」は設立以降、1市6町の連携強化や圏域住民等の一体感の醸成に注力してきた。また、令和2年度には観光消費拡大に向けた「観光販売戦略」を策定した。今後は、当該戦略に基づいた、情報発信の強化や体験型観光コンテンツの新たな造成、販売促進などの受入環境整備を支援することで、広域観光の振興を図っていく。また、「砂像のまち鳥取」推進事業や圏域住民の参画による活性化事業等の地域資源の磨き上げも継続して実施する。引き続き、圏域の誘客力の向上を図り、観光入込客の増加による交流人口の拡大を目指す。						
事業番号2	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、オンラインの移住相談会も増えてきている。今後は、オンライン出展における効果的なPR方法を検討しつつ、引き続き首都圏や関西圏からの移住者増加に向け、全国規模の移住相談会に出展する。また、麒麟のまち婚活サポートセンターによる成婚数を増やすため、カップル成立後のアフターフォローやセミナー等の充実を図る。						

⑦総合企画委員評価（外部評価）

評価	事業番号	ご意見等の内容	担当課回答	担当課
① KPI達成に有効であった。	1	指標1が新型コロナウイルスの影響もあり、目標の60%に留まっているが、現状ではやむを得ないと思う。今後、圏域の観光振興を図るための提案として、例えば「we love 麒麟のまちキャンペーン」で宿泊・食事・買い物などへの誘導支援策を実施してはどうか。	昨年度から本市独自の宿泊キャンペーンを実施し、宿泊や食事、買い物等への各種支援を行うとともに、麒麟のまち観光局では、新たな観光体験メニューを造成し、インターネット上で販売する取組を進めています。さらに圏域内の周遊の強化に向けたスタンプラリー等も検討しており、引き続き圏域全体の観光振興に取り組んでいきます。	観光・ジオパーク推進課
	1	コロナ禍でやむを得ない部分も多々あると考える。鳥取の魅力の情報発信について、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた対応を工夫していただきたい。	観光地における感染防止対策の充実は、観光地の質を高める重要な誘客要素と考えています。現在取組を進めている鳥取砂丘の滞在環境の上質化や観光資源の磨き上げなどと併せ、観光消費の拡大につながる戦略的な情報発信に取り組んでいきます。	観光・ジオパーク推進課
	1	新型コロナウイルスの影響により見送りや中止が多いが飲食以外であれば、対策（マスクやアルコール消毒）をして実施したらよいのではないかと。	観光イベント等の開催にあたっては、国や県が発出する情報に基づき、各事業者がその都度、事業の実施の可否を判断しているところです。今後も国や県の動向を注視しながら事業実施の判断を行う必要があると考えています。	観光・ジオパーク推進課
	1	関西ウォーカーなど、訴求力の強いメディアにアピールしていくのは大変効果的。雑誌社やメディアを上手に使うことで今後もアピールして欲しい。	雑誌などのメディアを活用した情報発信にあたっては、発行部数や購読者層、必要経費等を勘案しながら実施しているところです。また近年は、大手インターネット検索サイトやSNSでの情報発信も有効であることから、効果的な情報発信について検討していきたいと考えています。	観光・ジオパーク推進課
	1	麒麟のまち観光局は1市6町の連携の推進や圏域の観光消費拡大のための「観光販売戦略」の策定など、積極的に取り組まれており評価できる。	令和2年度に策定した「観光販売戦略」に基づき、現在、観光コンベンション協会のホームページのリニューアルを進めています。引き続き麒麟のまち観光局や観光コンベンション協会等と連携しながら、圏域の旬の情報やモデルコースなどを紹介し、広域連携による観光消費の拡大に取り組んでいきたいと考えています。	観光・ジオパーク推進課
	1	エリアプロモーション放送番組制作事業で、ラジオ放送全2回の実施とあるが、ラジオ放送にどれだけ効果があるか疑問である。	本事業は、麒麟のまち圏域で活躍しておられる方々の語られる声を通じて、地域の良いところを発信し、圏域内の多くの方にその魅力を再認識していただくことを目的として実施しました。 ラジオ放送に加え、収録内容をYouTubeで配信することで、圏域のみならず、多くの方に視聴いただき、麒麟のまち圏域の魅力発信につながったものと考えております。	政策企画課

⑦総合企画委員評価（外部評価）（続き）

評価	事業番号	ご意見等の内容	担当課回答	担当課
① KPI達成 に有効で あった。	2	おいでや！いなか暮らしフェア 2020は新型コロナウイルスの影響により中止とあるが、コロナ禍だからこそ、安全な鳥取への移住定住を宣伝すべきだと思う。	地方移住への関心が高まる中、本市の移住定住施策やとっとり暮らし情報などをより積極的に発信するとともに、受け入れ先の地域へも配慮しつつ移住定住者増に努めてまいります。	地域振興課
	2	移住定住については、全国の中で感染者が少ない鳥取県であり、住みやすい鳥取市をさらにPRしてほしい。		
	2	コロナで生活や人生に対する価値観が変わったことをよく分析して施策を調整してほしい。鳥取はこれからの時代に対し、強みが多いと思う。	とっとり暮らしの魅力をより高めることで移住定住先として選んでいただけるまちとなるよう、移住希望者や定住者の声を的確に捉え、各施策に反映させる仕組み作りを進めます。	地域振興課
	2	「移住したいまち」として1つの雑誌にランキングに載ったという成果は認めるが、webや他の移住系の雑誌を読んでも鳥取市の名前はあまり出てこないのが現状。ランキングが上がったことはどんどんアピールしていき、内部では現状を受け止めながら移住定住促進に努めてほしい。	本市への移住を検討していただくきっかけとして、各種メディアの活用は重要と考えています。ソーシャルメディアの活用強化など、引き続き本市への移住定住促進を積極的にPRしてまいります。	地域振興課
外部評価区分 ①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない				

(2) 高度外国人材等活用促進事業

①基本事項					
事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	地方への人の流れ	実施期間	H30年度～R2年度
②事業概要					
<p>企業活動の国際化や高度化への対応から、専門知識やグローバルな発想、変化への対応が必要とされている。そのような中で高度外国人材は、労働力としてのみならず、企業経営等を担う人材としての活用が期待されている。市内企業の人材不足と労働力不足への対応や、企業の海外展開の推進を図ることを目的に、本市の高度外国人材の供給体制の運営支援と外国人留学生の市内企業へのインターンシップを実施する。</p>					
③令和2年度実施事業					
事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等	
				実施事業を含む予算中事業名	
1	高度外国人材等活用促進事業	<p>(1) 日本語学校運営支援事業、外国人材確保定着支援事業</p> <p>本市と地域経済界の要望により市内に設置された日本語学校の教員の人件費に対して助成することで、教員の確保と経営の安定を図り、労働力不足解消に資する。</p> <p>また、当該日本語学校と関係機関が連携して実施する外国人留学生の地元企業へのマッチングと日本語教育の実施をセットで提供する事業を地元企業が利用する際に必要となる費用の一部を助成することで、市内企業の国際的な人材の確保を支援する。</p>	<p>●日本語学校の教員の人件費の助成。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2期生55名（うち令和3年度県内企業就職者14名＋県外41名） 就職予定企業33社（県内11社・県外22社） <p>●外国人材確保・定着支援事業により市内企業8社に助成を実施。（令和3年度9名の高度外国人材が市内企業に就職予定。）</p>	<p>経済観光部 企業立地・支援課</p>	<p>労働力確保対策企業支援事業費</p>
		<p>(2) 留学生地域就労支援事業</p> <p>事業の海外展開を行う地元企業で市内外の留学生によるインターンシップを実施し、本市の高いスキルを活かせる魅力的な企業の認知を推進し、高度外国人材の本市での就業を促進する。</p> <p>また、インターンシップを受け入れる地元企業に対して、高度外国人材の活用に関するセミナーを実施し、外国人材活用に伴う負担感や不安の解消を図る。</p>	<p>●インターンシップの実施は、新型コロナウイルス感染症の影響により見送り。</p> <p>●アフターコロナに備え、インターンシップのマッチングサイトの宣伝広報活動をSNS等にて展開。</p>	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課</p>	<p>国際経済交流推進事業費</p>
④事業費について					
総事業費			30,000	千円	
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）		9,320	千円	
	その他の特定財源		0	千円	
	一般財源		20,680	千円	

⑤重要業績評価指標 (KPI)

⑤重要業績評価指標 (KPI)						
指標 1	指標名	県内企業の高度外国人の採用数 (人/年度)				
	関連する事業番号	1	担当部 (局)・課等		経済観光部 企業立地・支援課	
		基準値 H28年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	目標値	—	10	20	30	
	実績値	0	0	0	13	
	達成率		0.0%	0.0%	43.3%	
指標 2	指標名	県内企業への就職を前提とした鳥取城北日本語学校への入学者数 (人/年度)				
	関連する事業番号	1	担当部 (局)・課等		経済観光部 企業立地・支援課	
		基準値 H28年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	目標値	—	30	30	30	
	実績値	0	0	11	14	
	達成率		0.0%	36.7%	46.7%	
内部評価	<p>内部評価区分</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>					
③						
⑥今後の方針について						
事業番号 1	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により大きな影響を受け、遅延や実施見送りがあった。本市における高度外国人材の活用促進事業は、今後も産業の高度化のために必要と考える。より一層の制度活用のためには、地元企業の高度外国人材活用に対する関心を高める必要がある。引き続き、感染拡大状況を踏まえながら事業を推進していく。</p>					

⑦総合企画委員評価（外部評価）

評価	事業番号	ご意見等の内容	担当課回答	担当課
① KPI達成に有効であった	1	高度外国人の定義が不明。また、実績とする13名の実際の業務内容及び「高度」とする根拠が見えない。 高度外国人材の定義を明確にしたうえで、採用数を目標値とする必要があると思う。（指標1関連）	高度外国人材とは、専門的な技術力や知識を有する外国籍人材のことであり、日本貿易振興機構（JETRO）によると、次の要件を同時に満たした人材をいいます。 (1)在留資格「高度専門職」と「専門的・技術的分野」の該当者のうち「研究」「技術・人文知識・国際業務」「経営・管理」「法律・会計業務」等に該当するもの (2)採用後は、企業において、研究者やエンジニア等の専門職、海外進出等を担当する営業職、法務・会計等の専門職、経営に関わる役員や管理職等に従事するもの (3)国内または海外の大学・大学院卒業同等程度の最終学歴を有しているもの 13名の採用者は、いずれも上記を満たしている人材です。	企業立地・支援課
		日本語学校の入学者（日本語習得が目的）であり、高度人材採用促進を図るには無理があると思う。高度人材の在留資格の1つである「技術・人文知識・国際業務」において日本語習得レベルはあまり重要ではない。母国語以外では、英語は必須と考えるが、高度なスキルを身に着ける基礎的能力が重要と考える。また、受入側企業の英語力（コミュニケーション力）も重要である。（指標2関連）	鳥取城北日本語学校が手掛ける「外国人材育成雇用プロジェクト」は、母国の4年制大学の卒業生を対象に、留学前に国内企業とのマッチングを行い、予め国内企業への就職が内定している状態で日本語学校に留学するプロジェクトです。 進学ではなく、就職を前提としたプロジェクトであるところが特徴であり、高度外国人材の採用促進を図る効果があると考えています。	企業立地・支援課
		指標値の問題は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと考えられる。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、留学生が入国できない、県外企業への対面での営業活動ができない、雇用に対するニーズが縮小するなど、当プロジェクトも大きな影響を受けました。 今後は、オンラインによる営業活動の強化や介護福祉人材など他分野の外国人材提供に関する検討を行うなど、鳥取城北日本語学校とともに、アフターコロナを見据えた活動を続けてまいります。	企業立地・支援課
		令和2年度はコロナ禍に伴う特殊要因があり、結果をそのまま評価するべきではないと考える。一定に成果を認め、反省を踏まえながら推進するべきと思う。		
		コロナ禍での取組として、前年よりも実績があった部分でKPI達成に有効であったと考える。アフターコロナを見据え、KPI達成に向け重要な年だと思う。また、インターンシップやマッチングサイトの運営・PRについても検討する必要があるように思う。さらなる取組の向上に期待する。	SNSの他には、企業向けウェブセミナーでの広報や留学生とのオンライン交流会での周知等に取り組んでいます。また、SNS広報用に作成した動画や概要をまとめたチラシは、アフターコロナにおける企業訪問等でも活用できるものと考えています。	経済・雇用戦略課
	インターンシップの取組、マッチングサイトの広報活動について、SNSの他には取組を展開しておられないだろうか。今後検討しているものも含めて教えていただきたい。			

外部評価区分

①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない

(3) 「山陰海岸ジオパーク」の魅力向上・発信による地域活性化プロジェクト

①基本事項					
事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	R元年度～R3年度
②事業概要					
<p>山陰海岸ジオパークエリアに点在する優れた観光エリアの情報発信や魅力の向上、ジオパークの本質を体験できる体験型観光の充実・強化により、麒麟のまち圏域を訪れる観光客の増加を図る。また、ジオパーク学習会を通じて、こどもたちの郷土愛の醸成を図るとともに、地域資源を活かした観光事業の可能性や魅力を伝える。</p>					
③令和2年度実施事業					
事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等	
				実施事業を含む予算中事業名	
1	鳥取砂丘ジオパーク魅力発信事業	(1)鳥取砂丘ビジターセンター運営負担金 「鳥取砂丘ビジターセンター」を運営し、鳥取砂丘を訪れる観光客等へ砂丘への理解と関心を深め、多彩な楽しみ方を紹介することにより、滞在時間や観光客の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●入館者数143,185人 ●館内外ガイド利用者数4,659名 ●ちびっこレンジャー事業など各種ジオパーク関連事業の実施。 	<p>経済観光部 観光・ジオパーク推進課</p>	<p>鳥取砂丘ビジターセンター事業費</p>
2	山陰海岸ジオパーク学習支援事業	(1)校外学習支援事業 市内の小中学校等が行う山陰海岸ジオパークに関する校外学習に必要なバス代を支援することで、郷土愛の醸成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●校外学習に係るバス代の支援を実施。 ●校外学習参加者数2,195名（38校） 	<p>経済観光部 観光・ジオパーク推進課</p>	<p>山陰海岸ジオパーク事業費</p>
3	海外プロモーション事業	(1)旅行会社、インフルエンサー等による情報発信事業 海外の現地旅行会社等を通じた広告宣伝など各種プロモーション活動の実施、台湾を中心とした東アジア市場を対象とした現地での旅行セミナーの開催、SNSを活用した情報発信により、訪日外国人観光客のさらなる誘客を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●羽田一鳥取 外国人旅行者誘客事業の実施。 ●訪日外国人向け商品造成15本、YouTube動画広告の実施 ●台湾での鳥取市観光セミナーを開催。 ●参加者数現地一般人100名 ●台湾向けの鳥取市観光に関するFacebookページの運営。 - 月9本（年108本）の情報配信 ●台湾向け鳥取市観光PR用HPを作成 	<p>経済観光部 観光・ジオパーク推進課</p>	<p>国際観光推進事業</p>

④事業費について						
総事業費		35,375		千円		
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	16,736		千円		
	その他の特定財源	1,902		千円		
	一般財源	16,737		千円		
⑤重要業績評価指標（KPI）						
指標1	指標名	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数（万人/年）				
	関連する事業番号	1～3		担当部（局）・課等		経済観光部 観光・ジオパーク推進課
		基準値 H29年	R1年	R2年	R3年	
	目標値	—	273.0	295.0	325.0	
	実績値	263.0	294.9	170.8		
	達成率		108.0%	57.9%		
指標2	指標名	出前講座・現地研修参加者数（人/年度）				
	関連する事業番号	2		担当部（局）・課等		経済観光部 観光・ジオパーク推進課
		基準値 H29年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	目標値	—	10,300	10,600	11,000	
	実績値	10,000	10,494	6,854		
	達成率		101.9%	64.7%		
内部評価	<p>内部評価区分</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>					
③						
⑥今後の方針について						
事業番号1	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、センターを閉鎖した期間や県境をまたいだ観光の自粛により、令和2年度の入館者数・ガイド利用者数は伸び悩んだ。今後は、コロナ禍での自然観光ニーズの高まりを見据え、ガイドツアーの実施や企画展等のイベント開催により、滞在時間や観光客等の増加につなげる。					
事業番号2	新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に比べ参加者は減ったが、多くの小学校等が山陰海岸ジオパークに関する校外学習を行った。今後も、山陰海岸ジオパークを活かした郷土愛の醸成を図るため、ビジターセンターなどの拠点施設にある実験装置やレクチャールームなどを活用し、こどもたちの校外学習を支援していく。					
事業番号3	令和2年度は、インバウンド需要の将来的な回復を見据え、観光情報の発信を中心に取り組んだ。令和3年度においても、多言語案内の充実や観光販売商品の造成など受入環境の向上に努める。また、引き続き、東アジアおよび欧米豪へ向けたWEBによるプロモーション（宣伝・広報）により、継続的な誘客喚起を行う。					

⑦総合企画委員評価（外部評価）

評価	事業番号	ご意見等の内容	担当課回答	担当課
② KPI達成 には 言え ない。	1	新型コロナウイルス感染症が全国規模で拡大していたので、観光入込客数の減少はやむを得ない。鳥取砂丘や山陰海岸ジオパークなどは屋外観光資源であるので、感染症の収束を見据え、ガイドツアーや楽しい企画を準備して打ち出してほしい。	鳥取砂丘や山陰海岸ジオパークは密にならない観光地として注目され、ウォーキングイベントなどには、コロナ禍にあっても多くの方が参加されています。 こうした状況を踏まえながら、関係団体等を連携し、イベントやツアーの開催に取り組んでまいります。	観光・ジオパーク推進課
	1・2	指標1、2とも新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標の約60%に留まっているが現在の状況ではやむを得ないと思う。山陰海岸ジオパークへの誘客には「山陰近畿自動車道」の南北線開通や早期全線開通が極めて重要となるので、取組の強化を期待する。	山陰近畿自動車道の速やかな整備は、本市、本市を含む連携中枢都市圏域、更には地質遺産「山陰海岸ジオパーク」エリアの地域経済の活性化、雇用創出、安全安心な市民生活の確保など、沿線地域での多岐にわたる地方創生の取り組みを継続していくために重要なことと考えます。 特に、令和元年の山陰道 鳥取西道路の全線開通に伴い、「山陰近畿自動車道」と「山陰道・鳥取自動車道」のミッシングリンクを解消する山陰近畿自動車道「鳥取～覚寺間（通称：南北線）」整備の必要性は飛躍的に高まっています。 沿線住民の安全・安心な生活を支える基盤道路としてだけでなく、産業経済の発展や観光振興のため、現在鳥取県で検討されている南北線の都市計画が早期に決定され、事業管理者の国が一日も早く事業化されるよう、要望を行うなど強く働きかけていきます。	都市企画課
	1・2	ジオパークに対する認知度は全国的には未だ高いと言えないと思う。郷土を深く知るための教育的効果はあると思うが、ジオパークが直接観光に結び付いていないのが現状と考える。今後については、ガイドの養成、支援などジオパークの魅力、認知度を上げていくことが大切。	令和2年度より山陰海岸ジオパーク推進協議会内に、ゼネラルマネージャーを配置し、ジオパークの観光的な活用を図るジオツーリズムの推進に取り組んでいます。 今後は、山陰海岸ジオパークトレイルの活用等によるジオツーリズムのさらなる推進と、ジオパークガイドの養成などに取り組む、知名度の向上に努めます。	観光・ジオパーク推進課
	1・3	コロナ禍なので難しかったと思う。オンラインなどを活用して将来につなげていただきたい。	将来的なインバウンド需要の獲得を見据え、コロナ禍においても東アジア市場に向けSNSを通じた情報発信を行った結果、登録者数が増加しました。また、台湾で開催の旅行セミナーでは、鳥取砂丘の風景や、食の魅力をオンラインで紹介するなど、アフターコロナに向けた本市のファンづくりを進めています。	観光・ジオパーク推進課
	2	子どもへの教育は投資の一環。長期的な視点で力を入れて取り組んでいただきたい。	現在、本市は県と連携し、砂丘西側エリアでの滞在型観光施設の整備に取り組んでいます。また、環境省もビクターセンター西側施設の整備を計画されています。こうしたジオパーク学習のための環境整備を踏まえ、子どもたちへの郷土愛を育む教育の充実に取り組んでまいります。	観光・ジオパーク推進課

⑦総合企画委員評価（外部評価）（続き）

評価	事業番号	ご意見等の内容	担当課回答	担当課
② KPI達成に有効とは言えない。	2	ジオパークを活用した校外学習支援事業について小学校38校で実施とあるが、全小学校で実施していただきたい。	ジオパークを活用した校外学習は、市内全ての小学校を対象としていますが、ジオパーク以外の内容で校外学習に取り組んでいる学校もあります。 引き続き、校長会などを通じてジオパーク学習の魅力を伝え、全小学校で実施されるよう働きかけていきます。	観光・ジオパーク推進課
	3	プロモーションは成果がなければ意味がない。投稿数も指標の1つではあるが、効果的ではない。投稿数ではなく、閲覧数、視聴数、イイネの数、コメントの数、お気に入りの数等で評価すべきである。	ご指摘のとおり発信者側の指標だけではなく、アウトカム（情報を受け取る側の行為に起因する）指標を設定することは効果測定上も重要と考えます。 今後は、アウトカム指標による効果測定なども含め、見直しを検討したいと考えます。	観光・ジオパーク推進課

外部評価区分

①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない

(4) 「麒麟のまち」製品のブランド化・販路拡大による産業振興プロジェクト

①基本事項					
事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	R元年度～R3年度
②事業概要					
<p>大阪中之島に開設した「麒麟のまち関西情報発信拠点」にて、麒麟のまち圏域の魅力発信や圏域製品のPR・販路拡大を行う。事業実施主体を「地域商社とっとり」が担い、その販売促進力や県内外の企業とのネットワークを活用する。販路拡大や市場ニーズを踏まえた新商品開発、既存商品のブランド化を一体的に実施するとともに、関西圏のファンを獲得し、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。</p>					
③令和2年度実施事業					
事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等	
				実施事業を含む予算中事業名	
1	関西情報発信拠点 麒麟のまち	(1) 関西情報発信拠点管理運営事業 圏域の情報発信、圏域食材を使用した飲食・製品の展示販売や販売促進イベント等を行う「麒麟のまち関西情報発信拠点」を大阪市北区中之島に設置し、運営することで、関西圏の麒麟のまち圏域ファンを増やし、交流人口の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●「麒麟のまち関西情報発信拠点」の管理運営。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 30,678名 ・売上(飲食および物販)合計金額36,024千円 	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課</p>	<p>関西情報発信拠点 推進事業費</p>
2	麒麟のまち関西情報発信拠点を活用した各種プロモーション事業	(1) 各種プロモーション事業 「麒麟のまち関西情報発信拠点」や麒麟のまち圏域に関する各種プロモーション事業の実施により、拠点の新規利用者の獲得及び既存客の利用頻度増加を推進するとともに、圏域の交流人口拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●堂島地下街でのタイアップ広告の通年掲載の実施。 ●「麒麟のまち関西情報発信拠点」の公式ホームページ等の運営により、拠点や圏域の情報発信の実施。 <ul style="list-style-type: none"> - 将来的なインバウンド需要の回復を見込み、公式ホームページの多言語化（日本語を含む6か国語）の実施。 ●圏域製品のプロモーションのため、拠点にて4種のキャンペーンイベント（延べ102日間）実施。 	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課</p>	<p>関西情報発信拠点 推進事業費</p>
		(2) 特産品販売促進事業 農家が関西圏のニーズを直接把握することができるマルシェ形式での物販の実施、圏域の特産品商談会の実施により、農産物や加工品等の販路開拓・拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●マルシェ形式による対面販売の実施は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う緊急事態宣言の発出等により見送り、宅配形式による物販に変更。 <ul style="list-style-type: none"> ・販売件数166件 ●麒麟のまち特産品商談会の一堂に会する形での実施は新型コロナウイルス感染症の影響により見送り。 ●代替手段として、リモート商談を開催。 <ul style="list-style-type: none"> ・商談件数24件 	<p>農林水産部 農政企画課</p>	<p>農産物販路拡大支援事業費</p>

④事業費について						
総事業費		47,641	千円			
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	23,604	千円			
	その他の特定財源	0	千円			
	一般財源	24,037	千円			
⑤重要業績評価指標（KPI）						
指標1	指標名	地域商社の取引契約件数（件数/年度）				
	関連する事業番号	1・2	担当部（局）・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課	
		基準値 H29年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	目標値	—	50	120	220	
	実績値	30	79	133		
	達成率		158.0%	110.8%		
指標2	指標名	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数（万人/年）				
	関連する事業番号	2	担当部（局）・課等		経済観光部 観光・シオパーク推進課	
		基準値 H29年	R1年	R2年	R3年	
	目標値	—	273.0	295.0	320.0	
	実績値	263.0	294.9	170.8		
	達成率		108.0%	57.9%		
内部評価	<p>内部評価区分</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>					
②						
⑥今後の方針について						
事業番号1	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大による入居ビルの一時閉鎖や外出自粛による人通りの減少があり、大きく影響を受けた。</p> <p>令和3年度も継続して拠点の運営を行っていくが、キャンペーンやイベントの実施など広報・宣伝方法を工夫したうえで、圏域の交流人口拡大を図る。</p>					
事業番号2	<p>麒麟のまち関西情報発信拠点に関するプロモーション（広報・宣伝）事業では、SNSでの情報発信機能との連動など、機能強化を行った公式ホームページ等を活かしつつ、キャンペーンやイベントの実施など拠点への直接的な誘客を強化する。</p> <p>特産品の販売促進事業については、販路拡大や都市部における消費者ニーズの把握を、地域商社などを主体として実施する。農家が直接行わない形でも、同等の効果を発揮できるよう事業を継続する。</p>					

⑦総合企画委員評価（外部評価）

評価	事業番号	ご意見等の内容	担当課回答	担当課
① KPI達成に有効であった。	1・2	令和2年度の指標2の未達成は仕方ないと思う。また、現状では県外者の入込促進は、市民感情もあり難しいが、新型コロナワクチンの接種率向上等により、今後国から出されるであろう、県をまだく移動などに関する自粛緩和等を踏まえ、目標達成に向け努力していただきたい。	アフターコロナを見据え、目標達成に向けた業務の効率化やプロモーションの質の向上などに取り組んで参ります。	経済・雇用戦略課
	1・2	評価指標1について、目標値が適切なものなのか不明。また、年度当たりの契約件数をKPIとしているが、一過性の契約と継続的な取引の契約と様々だと思うので、契約の質も評価の重要な要素と考える。当該チャネルを経由した販売額を時系列で計測し、参考指標としてはどうか。		
	1・2	基本的な問題は、内部評価のための指標（KPI）と目的達成の評価指標（KGI）の不整合にある。地域商社に委託する狙いが、販路の拡大と市場ニーズ把握に基づく商品開発であるならば、指標（KPI）そのものが不全である。地域商社取引契約件数の中身が精査されるべき。 また、観光入込客数については、当評価とはそもそも無関係に近い。観光入込客数はKPIではなくKGIと考える。KPIは交流人口増加のために、どのような目的でどのようなことが実施したか問われるべき。事業NO.1のKPIとKGIの関係、事業NO.2のKPIとKGIの関係を検証し、それぞれを正しく設定する必要がある。	評価指標については、ご意見のとおり適切なKPIとKGIを設定することが大切であると考えます。ご意見を参考にしながら、改善に努め、PDCAサイクルによる事業改善が適切に行われるよう取り組みます。 また、運営主体である地域商社ととりに、ご指摘の指標の把握について提案を行い、その分析結果について、今後の業務の参考とするように働きかけます。	政策企画課 地方創生・デジタル化推進室 経済・雇用戦略課
	2	新型コロナウイルスの影響下での活動は難しかったと思う。リアルなキャンペーンイベントの実施は難しくとも、web上での実施など更なる工夫を望む。 また、SNSなどの情報発信について、ターゲットは元々鳥取県に関わりのある人なのか、それとも大阪など県外の人になるのか。またその割合はどうなっているか。	関西情報発信拠点への誘客に向けた情報発信については、入居ビル内の他店舗と固定客の獲得競争となっている現状を踏まえ、発信内容の工夫や深化を行うことを念頭に強化に取り組みました。新型コロナウイルスの感染拡大の合間を縫って、リアルでのキャンペーンもある程度実施することができました。 また、SNSでの情報発信については、拠点での活動に関して既にご理解のある方、また、ご理解のある方のステークホルダーを主な対象者として、発信の強化や内容の深化を行うという観点で取り組んでいます。	経済・雇用戦略課

外部評価区分

①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない

(5) スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業

①基本事項					
事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	R2年度～R4年度
②事業概要					
<p>人口減少や少子高齢化の進展が農林水産業をはじめとする地域経済に影響を与えている。スマート農業の実証事業による生産性の高い農業の実現。農産物をはじめとする地元産品等を活用した新商品開発やブランド化の支援による高付加価値化。インターネットショップの運営をはじめとする地元産品の販路拡大やPRの支援による販売先の確保。担い手不足解消に向けた支援等の実施により、様々な課題の解決を図り、稼ぐ地域の実現を目指す。</p>					
③令和2年度実施事業					
事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等	
				実施事業を含む予算中事業名	
1	農産物のスマートブランドの推進と販路拡大	(1)農産物等販路開拓事業 海外販路開拓事業や首都圏向け商品開発事業の実施により、本市の農産物や加工品等の販路開拓・拡大を図る。	●海外販路開拓事業の実施は新型コロナウイルス感染症の影響により見送り。 ●新商品開発事業の実施。 ・市内企業への専門家派遣4件 ・新商品開発6件	農林水産部 農政企画課	農産物販路拡大支援事業費
		(2)農産物ブランド化事業 鳥取地どり「ピヨ」の生産体制の構築や人材育成等を支援することにより、更なるブランド化を推進する。	●鳥取地どり「ピヨ」の生産組織に対し、地どり生産の専門家による人材育成を通年で実施。 ●販路拡大に向けたPR費用に対する助成の実施。	農林水産部 農政企画課	鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金
		(3)6次産業化推進事業 農産物等を活用した6次化商品の新規開発や販路開拓、生産加工機器導入等に係る経費を支援することにより、農業者の所得向上を図る。	●6次化に取り組む農業者へ助成1件	農林水産部 農政企画課	もうかる6次化・農商工連携支援事業費
		(4)次世代農業推進事業 スマート農業をはじめとする生産性の高い次世代農業の実証事業を実施することで、本市の農業振興を図るとともに、若い世代の就農に対する関心を高める。また、農家のJGAP取得を支援することで、食の安心安全を推進するとともに、競争力向上を図る。	●大学等との共同による洗いうきよう切り機の研究開発の実施。 ●梨園でのICT技術を活用した事業継承モデルの実証事業の実施。 ●温泉を活用した園芸栽培におけるスマート農業モデルの実証事業の実施。 ・温泉の管路布設工事の実施。 ●水田の水管理のスマートデバイスによる効率化実証事業の実施。 ●JGAP基礎講習の個別訪問による実施32件（うち13件が取得に向かう）	農林水産部 農政企画課	次世代農業推進事業費

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部(局)課等
				実施事業を含む予算中事業名
2	インターネットによる圏域産品のPRととっとり市大	(1)インターネットモール運営事業 インターネットモール「とっとり市」を運営(カスタマーセンター設置、宣伝広告等の実施、システム保守、販促・集客コンテンツ作成・運用)を行うことで、インターネットによる販路拡大・開拓を促進し、本市の物産振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●売上高63,616千円(前年比274%) ・販促・集客コンテンツ「Irotori」の運用やコロナ禍対策事業による追加キャンペーン(交付金対象外事業)を実施。 ・システム改修によりインボイス(納品書を消費税率別に記載すること)対応を実施。 ・商品発送等の処理簡素化のため、配送データ連携を実施。 	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課</p> <hr/> <p>インターネットショップ 事業費</p>
		(2)鳥取市観光コンベンションセンター物産部門運営補助事業 鳥取市ふるさと物産館の運営を行う、鳥取市観光コンベンションセンターの物産部門の運営を支援することで、物産品及び伝統工芸品等の販路拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取市ふるさと物産館年間売上高30,484千円(前年比約78%) ・ネット販売売上高5,644千円(前年比172%) <p>●物産会員間の連絡会が立ち上がり、「とっとり市」との連携企画発案等の、事業の進捗確認体制が構築された。</p>	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課</p> <hr/> <p>物産振興体制強化事業費</p>
3	担い手不足解消のための人材確保支援	(1)人材確保推進事業 市内企業が作成する自社PR動画作成経費への助成、「とっとり企業ガイドブック(東部版)」の作成など、市内企業の認知度向上を図る。また、従業員の奨学金返済を支援する制度を設ける市内企業を支援することで人材確保とUターン就職の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●とっとり企業ガイドブック(東部版)1000冊作成 ・掲載企業数188社 ●企業就職PR動画作成助成金による助成6件 ●奨学金返済支援事業補助金による助成2件 	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課</p> <hr/> <p>人材確保推進事業費</p>
		(2)雇用促進協議会支援事業 本市の経済発展や雇用創造・促進に寄与することを目的に設置される鳥取市雇用促進協議会が行う、高校生を対象とした企業見学会の実施や採用力向上・若手社員定着セミナーの開催を助成することで、若者の地元定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●高校生企業見学会を実施。 ・8校736人が参加。 ●若手社員定着セミナー実施3回 ・参加者40人 	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課</p> <hr/> <p>雇用促進協議会支援 事業費</p>
		(3)中小企業中核人材育成支援事業 市内中小企業に対する中小企業大学校での研修受講にかかる経費の助成や、研修をサテライトゼミとして本市で開催することで受講に係る負担軽減を行い、市内中小企業の経営等の中核を担う人材育成の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●中小企業中核人材育成支援事業補助金による助成2社 ●サテライトゼミの開催は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により見送り。 	<p>経済観光部 企業立地・支援課</p> <hr/> <p>中小企業中核人材 育成支援事業</p>
		(4)事業承継推進事業 事業承継のための融資借入に係る利子に対する助成や、第三者承継先を探すために専門機関等と契約を結んだ際の初期費用の一部を助成することで、本市における事業承継を促進し、産業の維持・継続的発展を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●事業承継推進補助金による融資借入利子に対する助成5社 ●第三者承継支援補助金による助成5社 	<p>経済観光部 企業立地・支援課</p> <hr/> <p>事業承継推進事業費</p>

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部(局)課等
				実施事業を含む予算中事業名
4	販路拡大とブランド化支援	(1)農商工連携マッチング事業 市内事業者間の生産物、加工品、技術、販路等のマッチングや、技術力・販売力向上のための伴走型支援を鳥取商工会議所に委託して実施することで、農商工連携を促進し、地元農産物の販売活性化や6次産業化による高付加価値化を図る。	●マッチング支援29社 ●専門家派遣によるアドバイス支援8社 ●販路開拓支援17社	経済観光部 企業立地・支援課 農商工連携マッチング支援事業費
		(2)食品加工産業育成事業 市内食品加工事業者の新商品開発や既存商品改良などの取組や食品加工に係る新規事業の創出を支援することで、本市の豊富な農林水産物を活用した食品加工産業を育成し、地域経済の成長や多角化を図る。	●食品加工産業育成事業補助金による助成4件	経済観光部 企業立地・支援課 食品加工産業育成事業費
		(3)新技術研究開発事業 学術研究機関との共同研究による新規性及び独自性があるアイデアを事業化するために、事業可能性調査、基礎的・予備的試験、情報収集等に係る経費の一部を支援し、地場産業の活性化を推進する。	●補助制度の活用0件	経済観光部 経済・雇用戦略課 新技術研究開発事業費

④事業費について

総事業費		99,907	千円
財源内訳	地方創生推進交付金(国補助金)	44,573	千円
	その他の特定財源	10,538	千円
	一般財源	44,796	千円

⑤重要業績評価指標(KPI)

指標1	指標名	次世代農業実施経営体数(企業・法人・個人)(件/年度)				
	関連する事業番号	1	担当部(局)・課等		農林水産部 農政企画課	
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標値	—	1	2	4	
	実績値	0	1			
	達成率		100.0%			
指標2	指標名	高校生地元就職率(%/年度)				
	関連する事業番号	1・3・4	担当部(局)・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課	
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標値	—	88.60	89.40	90.20	
	実績値	87.80	87.09			
	達成率		98.3%			

⑤重要業績評価指標（KPI）（続き）

指標3	指標名	大学生地元就職率（%/年度）					
	関連する事業番号	1・3・4	担当部（局）・課等		経済観光部 経済・雇用戦略		
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2年度	R3年度
	目標値	—	24.14	24.88	25.62		
	実績値	23.40	17.20				
	達成率		71.3%				
指標4	指標名	インターネットモール「とっとり市」の売上額（円/年度）					
	関連する事業番号	2	担当部（局）・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課		
		基準値 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	目標値	—	26,626,625	30,620,619	35,213,712		
	実績値	23,153,587	63,616,392				
	達成率		238.9%				
内部評価		<p>内部評価区分</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>					
⑥今後の方針について							
事業番号1	<p>令和3年度もスマート農業等の次世代農業に関する各種実証事業を継続実施する。令和2年度事業で得た成果の更なる発展や課題の解決を図り、若い世代が関心を持てる生産性の高い農業の実現に向け、事業を推進していく。</p> <p>また、農産物や加工品等の販路拡大に資するため、新商品開発に向けた各種事業の推進や農産物のブランド化事業も継続して実施。引き続き、農業者のビジネスチャンス創造や所得向上に向けた動きを支援する。</p>						
事業番号2	<p>「とっとり市」は令和2年度において、本事業と別事業でのキャンペーン等との相乗効果により、KPIを越える売上高を達成した。キャンペーン以外による経常的な売上高も、前年比155.4%の36,060千円となり、一定の成果を得た。今後も現在の方針を維持し、事業を進める。</p> <p>また、本事業により、新たに立ち上がった物産会員連絡協議会は「とっとり市」の売上データ等の分析を行う予定である。協議会及び会員と「とっとり市」によるPDCAサイクルの確立を促進し、事業の相乗効果を狙う。</p>						

⑥今後の方針について（続き）

<p>事業番号 3</p>	<p>人材確保推進事業については、一定数ある企業ニーズに応じ、各補助事業を継続実施する。また、企業ガイドブックの令和3年度版を発行する。 雇用促進協議会支援事業は実施内容の変更や追加を行う。これまでの高校生による大規模な企業見学会をオンライン学習と小規模人数による職場体験プログラムへ変更。コロナ禍への対応や大人数の受入ができない企業の参画を図る。また、若手社員定着セミナーの実施に加え、企業の個別課題の解決に向けたコンサルティングの実施を行う。 中核人材育成支援事業については、コロナ禍での県境を越えた研修の受講やサテライトゼミの開催が困難となっている。他事業に予算集中のため令和2年度で事業中止とする。 事業承継については、鳥取県の後継者不在率が77.9%と都道府県別で2番目に高い状態（帝国データバンク鳥取支店 令和2年調査）にある。支援の継続により市内事業所の維持・発展を促し、若者の地元就職における選択肢の確保につなげる。</p>
<p>事業番号 4</p>	<p>農商工連携や食品加工産業の育成については、事業者の課題解決に向け、商工団体等の関係機関との連携による事業の進捗が図られている。引き続き、事業を推進する。 一方、産学連携については、一部を除き地元企業も学術研究機関もお互いのシーズや研究内容を知らず、知る機会もない状況である。今後は商工団体等との連携により、知る機会の提供を行う。</p>

⑦総合企画委員評価（外部評価）

評価	事業番号	ご意見等の内容	担当課回答	担当課
<p>① KPI達成に有効であった</p>	<p>1</p>	<p>KPI達成については、有効に施策が実施されていると考える。スマート農業の実施レベルが商品開発志向に偏って見えるが、マーケットの分析による価値向上を狙いとして、どのようにスマート化するかが課題と考える。</p>	<p>市場の動向を把握し、ニーズが高い品目の生産を重点的にスマート化して安定生産を図り、ニーズに応えることで農産物のブランド化を図っていきます。</p>	<p>農政企画課</p>
	<p>1</p>	<p>コロナ禍により、新たな販路開拓、PR機会の増大につながったが、一方で担い手不足への対応は急務と考えることから、次世代農業推進について、一層の注力が求められると考える。</p>	<p>農作業の効率化や販路確保の取組により担い手不足の解消を図るため、ICT技術を活用したスマート農業機器の普及に向けた取組の継続や、市場ニーズの把握による新たな販路の開拓等に努めます。</p>	<p>農政企画課</p>
	<p>1・4</p>	<p>農業者の所得向上は極めて重要な目標であり、そのために6次産業化は重要な課題と考える。成功事例の分析により、鳥取市としての農業の6次産業化の課題について深堀し、より促進するための施策立案・実施が必要と考える。また、商工会議所への委託についても、促進施策を共有して推進することが大事と考える。</p>	<p>今までの事例の情報を収集・分析し、本市における6次産業化への課題の明確化とその解決方法の検討等を行い、今後の6次産業化への取組に活用していきます。また、すでに商品化されている6次産業化加工品についても、改善すべき点等を洗い出してブラッシュアップを行うことや加工技術の向上のための助言を行うなど、よりよい商品となるよう鳥取県や商工会議所、(株)地域商社とつとり等の関係機関と連携して取り組んでいきます。 また、商工会議所への委託事業については、随時情報共有を図っており、本市の意向に沿って実施をしていただいているところです。今後も、新たな施策等の立案を行った際は、その都度共有し、一層の事業推進を図ります。</p>	<p>農政企画課 企業立地・支援課</p>

⑦総合企画委員評価（外部評価）（続き）

評価	事業番号	ご意見等の内容	担当課回答	担当等
① KPI達成 に有効で あった	1・4	ブランド化と販路拡大等については、コロナ禍で注目が高く、展開の拡大が望める事業かと思われる。商品のブランド化や商品開発などに向け積極的に動いていただきたい。	鳥取県オリジナル品種のイチゴ「とっておき」や鳥取地どり「ピヨ」など、ブランド化を進めている品種の生産拡大への支援や、加工品の開発・ブランド化への支援を行うとともに、（株）地域商社とっとりによる商談やECサイトの活用により、積極的に販路拡大に繋がりたいと考えます。 また、コロナ禍により大きな影響を受けている、食品加工や飲食業において、ECサイトを活用した販路拡大への事業の再構築が進んでおり、積極的に支援し、販路拡大を促進します。	農政企画課 企業立地・支援課
	2	とっとり市のインターネットモール運営は概ね順調のように見える。民業圧迫を避けるため、民間移行についても考慮すべきと考える。	出店料収入と運営に要する経費の対比から、早期の民間移行は困難ですが、事業の着実な成熟を図り、民間移行が可能な状況となり得るよう収益性を向上していきます。	経済・雇用戦略課
	2	インターネットモール「とっとり市」も、この時期だからこそ、販路や新規出展企業の確保と拡大が必要だと考える。	本事業に加えて別事業にて、コロナ禍での販路拡大の推進として30%オフや送料無料のキャンペーン等に取り組んだことにより、全体の売上向上が図られると同時に、新規に参画される店舗も増加していることから、今後も同様の取組を継続しながら、新規店舗へのアフターフォローなど、ハンズオン支援を継続していきます。	経済・雇用戦略課

外部評価区分

①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない

(6) 中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業

①基本事項					
事業名	中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業				
事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	まちづくり	実施期間	R2年度～R4年度
②事業概要					
<p>鳥取駅周辺を麒麟のまち圏域の中心市のエントランスにふさわしい利便性の高い、活気、魅力のあるエリアにすることを目的とする。エリア周辺の構造的課題の把握、回遊性・滞在性の向上による魅力の創出、遊休不動産の利活用を通じてまちの魅力を高める「リノベーションによるまちづくり」の推進を行う。また、市内外からの来訪者増加に向け、持続可能で利便性の高い公共交通の再構築に向けた事業を展開する。</p>					
③令和2年度実施事業					
事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部(局)課等	
				実施事業を含む予算中事業名	
1	鳥取駅周辺再生基本構想策定業務	(1)鳥取駅周辺再生基本構想策定業務 令和元年度に実施した鳥取駅周辺の構造的な課題を把握・整理する基礎調査を踏まえ、駅周辺の魅力向上を図るための今後10年の方向性を検討した上で、鳥取駅周辺再生基本構想(第2期)を策定する。	●鳥取駅周辺再生基本構想(第2期)を令和3年3月に策定。	都市整備部 中心市街地整備課	鳥取駅前周辺にぎわい創出事業
2	鳥取駅前フリーWiFi整備事業	(1)鳥取駅前フリーWiFi整備事業 鳥取駅周辺施設等に公衆無線LAN環境を整備し、市民・来街者等が滞在できる憩いの場を整える。また、一帯の拠点性を高めるためにTottori eikimae Free Wi-Fiと名称づけ、周辺広場の活用とあわせ、市内外の情報発信を行う空間を整備する。	●鳥取駅前の風紋広場、ケヤキ広場、バード・ハットの公共空間にWi-Fiを設置。(令和3年3月より提供開始)	都市整備部 中心市街地整備課	鳥取駅前周辺にぎわい創出事業
3	鳥取駅北口広場ライトアッププロジェクト	(1)鳥取駅北口広場ライトアッププロジェクト 鳥取駅北口周辺広場のライトアップ装飾を施すことで、人々が滞在しやすい空間を整え、賑わいの創出を図る。	●鳥取駅北口周辺広場のケヤキ広場のライトアップのバージョンアップを実施。 ・通年点灯とすることで人々が滞在しやすい空間を創出。	都市整備部 中心市街地整備課	鳥取駅前周辺にぎわい創出事業
4	市道駅前創出太平線賑わい創出事業	(1)市道駅前太平線賑わい創出事業 鳥取駅北口広場において社会実験を実施し、人が自然に集まる賑わい空間の実現に向けた方策を検討する。	●社会実験の実施は新型コロナウイルス感染症の影響により見送り。	都市整備部 中心市街地整備課	鳥取駅前周辺にぎわい創出事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部(局)課等
				実施事業を含む予算中事業名
5	(リノ遊ベ1不シ動ヨ産ン利活用つ推く進り事関係)	(1)遊休不動産利活用ワークショップ開催経費、専門アドバイザー派遣事業、遊休不動産活用事業 リノベーションまちづくりに取り組む民間プレイヤーの育成を行う「遊休不動産利活用ワークショップ」の開催、当該ワークショップや遊休不動産活用に取り組む団体等に対し、その分野の専門家をアドバイザーとして派遣する「遊休不動産専門アドバイザー派遣事業」の実施、遊休不動産を活用して、まちなかの賑わいに資するイベント等を開催する団体等を助成する「遊休不動産活用事業」を実施し、民間主導の持続的なまちづくりを促進する。	●ワークショップ(空き家会議)は、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、遊休不動産を活用した取組を実践する事業者や専門家等3名による対談に変更し、Youtubeで配信。 ●遊休不動産専門アドバイザー派遣事業の活用0件 ●遊休不動産活用事業による助成制度の活用0件	都市整備部 中心市街地整備課 遊休不動産利活用 推進事業
6	システム自動運転の導入に共通する業務	(1)自動運転等に関する次世代公共交通システムの導入検討業務 交通事業者の運転者不足が深刻化し、バス路線等の廃止や減便が続いているため、自動運転バス等のAIやIoTを活用した次世代公共交通システムの導入に向けた調査・研究等に取り組み、生活を支える持続可能な公共交通ネットワークの構築を図る。	●国内における自動運転による移動サービスの事例調査・研究を行い、導入に向けた課題整理、今後の取組方針について検討を行った。	都市整備部 交通政策課 未来型地域交通連携確保 事業費

④事業費について

総事業費		21,081	千円
財源内訳	地方創生推進交付金(国補助金)	9,290	千円
	その他の特定財源	0	千円
	一般財源	11,791	千円

⑤重要業績評価指標(KPI)

指標1	指標名	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日・休日)(人/年度)				
	関連する事業番号	1~5	担当部(局)・課等		都市整備部 中心市街地整備課	
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標値	-	14,725	14,925	15,125	
	実績値	14,525	14,398			
	達成率		97.8%			

⑤重要業績評価指標（KPI）（続き）

指標 2	指標名	遊休不動産の利活用件数（件/年度）				
	関連する事業番号	5	担当部（局）・課等		都市整備部 中心市街地整備課	
		基準値 H27年～H30 年度（累計）	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標値	—	2	2	2	
	実績値	8	3			
	達成率		150.0%			

指標 3	指標名	圏域の路線バス利用者数（千人/年度）					
	関連する事業番号	6	担当部（局）・課等		都市整備部 交通政策課		
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2年度	R3年度
	目標値	—	2,585	2,456	2,334		
	実績値	2,721	2,335				
	達成率		90.3%				

内部評価	
③	<p>内部評価区分</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>

⑥今後の方針について

事業番号 1	鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）の策定により、令和3年度から令和12年度までの10年間で優先的に取り組むべき基本方策が整理された。今後は本構想をもとに、事業実施に向けた基本計画を策定し、鳥取駅周辺の再生に繋げていく。
事業番号 2	鳥取駅周辺の公共空間でのWi-Fi環境整備により、観光客等来街者が情報収集できる環境が構築され、利便性が向上した。引き続き、Wi-Fi環境を提供し、他の事業との相乗効果により、賑わいの創出と回遊性の向上を図る。
事業番号 3	令和2年度の事業により、隣接する風紋広場との一体的なデザイン・整備によるライトアップ演出が可能となり、駅前のシンボルとしての空間形成を図ることができた。今後は市民にとっての憩いの場の創出や、イベント利用や出店など公共空間の利活用促進を図り、中心市街地への誘客へ繋げる。

⑥今後の方針について（続き）

事業番号 4	令和3年度は、感染拡大状況を踏まえながら社会実験を実施をする。鳥取駅周辺に位置する公共空間を活用した日常的な賑わいを生み出す取り組みにつなげるため、実験による効果や課題を整理し、駅周辺の再生に繋げていく。
事業番号 5	「鳥取市リノベーションまちづくり構想」に基づき、リノベーションまちづくり会議の開催、投融資制度の活用等による事業化の伴走支援や民間、地域によるエリアマネジメント推進に向けた取り組みを進めるとともに、遊休不動産所有者と民間事業者のマッチングの強化を図っていく。
事業番号 6	令和2年度に行った、自動運転による移動サービスの導入にあたっての課題整理や今後の取組方針についての検討結果を踏まえ、システム開発企業や交通事業者との協議を行う。

⑦総合企画委員評価（外部評価）

評価	事業番号	ご意見等の内容	担当課回答	担当課
① KPI達成に有効であった。	1	合併時より、中心市街地の活性化については、2核2軸の構想があった。少なからず批判があることも承知しているが、市街地の活性化は鳥取市の大きな課題である。新たな構想の下に、着実かつ斬新な発想で推進していただきたい。	令和3年度から令和12年度までの「10年間」を対象期間とし、今後10年間で優先的に取り組むべき基本方策について整理した鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）に基づき、鳥取駅周辺の賑わい創出に取り組んでまいりたいと思います。	中心市街地整備課
	1～5	鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）が策定され、Wi-Fi整備や駅北口広場ライトアップも実現し、ハード整備が進んだ。コロナ禍で見送られた賑わい創出事業の実施や、策定された再生基本構想の着実な実現を期待したい。		
	1～5	本事業による施設等を利用して、駅前に滞在する人々を目にしたたり、リノベーションされた空き家に住む知人がいたり、鳥取駅前が進化している実感があった。地元のクリエイターや職人が関わっているという話も聞こえ、市と個人、双方にとって喜ばしい事例だと思う。大火後に再建された鳥取市街独特の街並みを守りながら、将来の発展につなげる活動をぜひ継続してほしい。		
	2	スマートフォンで市内（中心市街地等）の食や買い物、観光などの紹介や案内、予約ができるようなアプリの開発などに取り組んではいかがでしょうか。	本市は、市内随一の交通結節点である鳥取駅周辺に、市内の観光地の情報や公共交通機関の情報などを確認することができるデジタルサイネージを新たに設置し、令和3年7月1日より運用を開始しています。このサイネージでは、スマートフォンでQRコードを取得することで、駅から鳥取城跡まで回遊するための代表的なルートを案内することを可能としており、市民や観光客の皆様の利用を図っていくこととしております。 ご提案いただいた施設予約可能なアプリについては、既に民間事業者等が運用されているものも多数ありますので、行政として新たに作成するのか、既存ツールの活用で足りるのかも含め、関係部署で研究してみたいと思います。	中心市街地整備課

⑦総合企画委員評価（外部評価）（続き）

評価	事業番号	ご意見等の内容	担当課回答	担当課
① KPI達成に有効であった。	4	鳥取駅北口から中心市街地への根本的な動線の見直しが必要なのではないかと考える。	鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）では、4つのめざすべき将来像の1つとして、～居心地が良く歩きたくなるまち～を掲げ、歩行者動線及び案内機能の改善・強化により、駅周辺と既存商業等中心市街地内の施設間に、市民や観光客など多様な人の流れを作り出すとともに、人が集まり、交流できる憩い空間を創出したいと考えております。 そのなかで今後10年間で優先的に取り組むべき主な個別事業の考え方も示していますが、鳥取駅から駅周辺地区への回遊性向上に向けて、関係機関等との連携のもと、誰もが安全・便利・円滑に鳥取駅から商店街へ移動できる歩行者動線の確保などを検討していくこととしております。	中心市街地整備課
	6	高齢化した鳥取市が持続するための大きなポイントだと考える。ぜひ成果につなげてほしい。	引き続き、交通事業者や関係機関と連携し、無人自動運転バスの実用化に向けた取組を推進していきます。	交通政策課
	6	完全に近い自動化の実用化には、まだまだ相当に時間を要すると思う。当面、例えば電磁誘導線方式によるセミ自動運転なども検討してはどうか。	自動運転は電磁誘導線やGPS、3次元地図などを活用した運行手法があり、それぞれに課題もあります。今後、安全性や実現性、コスト面等も含めて本市の実情に合った最適な手法を検討していきます。	交通政策課

外部評価区分

①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない